

使用上のご注意

アンプやプログラムソースの電源をON/OFFするときはアンプの音量を最小にしてください。

低音が聞こえない、あるいは楽器の発音位置が不明瞭な場合はスピーカーコードの+/-の端子が正しく接続されているかお確かめください。

エンクロージャーのお手入れとご注意

- 中性洗剤やシンナー、ベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためますので、使わないでください。
- エンクロージャーのよい艶を永く保つには、いきなり強く拭かず、柔らかい筆か羽根ぼうきで塵を払い落としてから、付属のクリーニングクロスで乾拭きしてください。(タワシやスポンジなどは絶対に使用しないでください。)
- 指紋や油じみなどは息を吹きかけ、付属のクリーニングクロスで拭き取ってください。
- 汚れがひどいときのみ、水またはぬるま湯の石鹸水に浸して固く絞った柔らかい布で拭き取ってください。
- エンクロージャーに傷を付けないようにご注意ください。

スピーカーの破損を防ぐために

各スピーカーユニット、ネットワーク、エンクロージャーは分解したり、改造したりしないでください。

回路の断線を防ぐために

次のような信号を連続して入れないでください。

- FM放送の局間ノイズ
- 電子楽器の連続的な高い周波数の信号
- テーブデッキで早送り時に出る大出力で周波数の高い信号

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまず確認を

この説明書を、もう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではステレオの補修用性能部品(部品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店かサービス窓口にご相談ください。

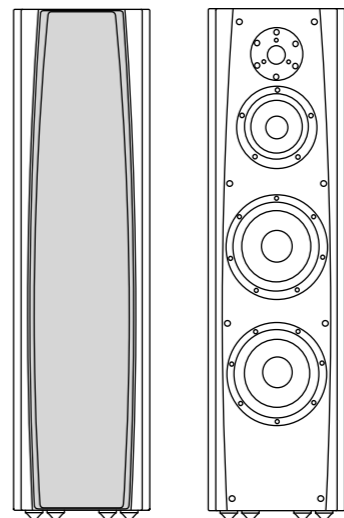
ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：SS-AR1
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

SONY®

スピーカー・システム

SS-AR1



取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などは ホームページをご活用ください。		http://www.sony.co.jp/support	
使い方相談窓口		左記番号へ接続後、 最初のガイダンスが 流れている間に	➡
フリーダイヤル……………	0120-333-020		
携帯電話・PHS・一部のIP電話…	0466-31-2511	「306」+「#」	
修理相談窓口		を押してください。 直接、担当窓口へ おつなぎします。	➡
フリーダイヤル……………	0120-222-330		
携帯電話・PHS・一部のIP電話…	0466-31-2531	※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらお問い合わせください。	
FAX (共通) 0120-333-389 受付時間 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00			
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1			

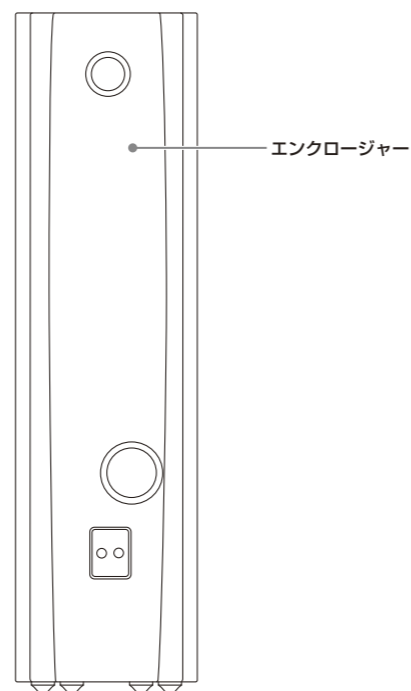
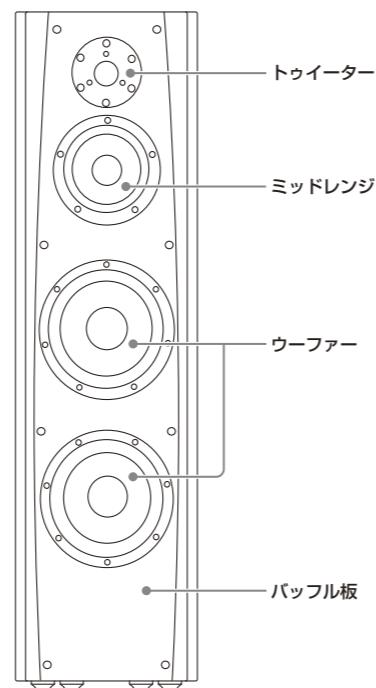
心地よい音。それは、心に響く豊かな音。
その音をじっくりくつろいで聴いていただきたい。
上質な音楽を楽しんでいただきたい。
また、音を楽しむだけでなく、
持つ喜びを感じていただきたい。
これが、SS-AR1に込めた私たちの思いです。

まず、その実現のために、スピーカーの要である「ユニット」については、単に特性を追求するだけでなく、作品に込められた演奏者の思いをも感じられる情緒豊かでリアリティのある音を目指して開発しました。
ウーファーは、強力な磁気回路を装備したアルミ振動板が、頑強なエンクロージャー構造と相まって、力強く奥深い、それでいて、安定感あふれるクリアな低音を生み出します。
ミッドレンジは、振動板に一度切れ込みを入れた後に再び接着させることで、高域ピークを減少させ、滑らかでナチュラルな中高域を再生可能にしました。
トゥイーターは、磁気回路の最適設計や振動板の形状、および振動板後方をストレスなく開放したことなどで、クリアで伸びのある、抜けのよい高音を実現しました。
また、ウーファーとミッドレンジの間を2枚の板で仕切ることで、ウーファー部分とミッドレンジ・トゥイーター部分の独立した2つのスピーカーを設置しているような、贅沢な音の空間を創り出しました。これにより、スピーカー下部に設置されたウーファーの影響を受けずに、ミッドレンジ、トゥイーターが奏でる繊細な高音を保持できます。

スピーカーには、頑丈なエンクロージャーが不可欠です。そこで、エンクロージャーの高剛性化と響きのコントロールを徹底的に行いました。ユニットを取り付けるバッフル板には、北海道の自然に育まれた良質かつ稀少な楓(かえで)を用いました。その楓材を使用して、50mmの頑強な積層合板に仕上げたことで、ユニットとの相性に一層の安定感をもたらしています。
側板には、重量や強度はもちろんのこと、その独特の気品を持ち、濃密な響きや安定感をもたらす、フィンランド産の樺(かば)材を用いています。これを丁寧に曲げ、なめらかなラウンド形状に加工しました。これらの素材や形状により、構造的な頑強さ、寒冷地で育った木材独特のきれいな響きが得られるとともに、不要な定在波の低減、音の回析による波面の乱れの低減に効果を発揮します。
さらに、仕上げには、ピアノフィニッシュ塗装を施しました。これにより、SS-AR1は、オーディオルームやリビングルームなど、どこにおいても上品な存在感を持ち合わせています。また、木材を湿度や外界から守る役割を果たしています。

このような、私たちが音作りで培ってきた技術や経験、また、厳選された素材とデザイン、そして日本の卓越した技巧を持つ木工職人による伝統的技術、これらの調和が豊かな音と、持つ喜びを醸し出します。

SS-AR1で、上質な音楽を心ゆくまでご堪能ください。



接続するアンプ/ スピーカーコードを確認する

次の条件に合ったアンプ(別売り)やスピーカーコード(別売り)を選んでください。

アンプを選定するときの条件

このスピーカーのインピーダンスは4Ωです。過大な音を出すと、スピーカーを破損することがありますので、過大入力にならないように、アンプの音量つまみの位置にご注意ください。

スピーカーコード(2本)を選定するときの条件

音声信号が高音質のまま出力されるように、必要最小限の長さにします。コード端末は、次のいずれかで処理されたものを使ってください。

- コード端末の被覆を約10mmはがし、芯線(直径4mm未満)をむき出しにした状態
芯線は、時間が経つと酸化することがあります。その場合は、むき直し・再結線すると、より良い音でお楽しみいただけます。
- Yラグ(Yラグ内径6mm以上、外径12mm未満)

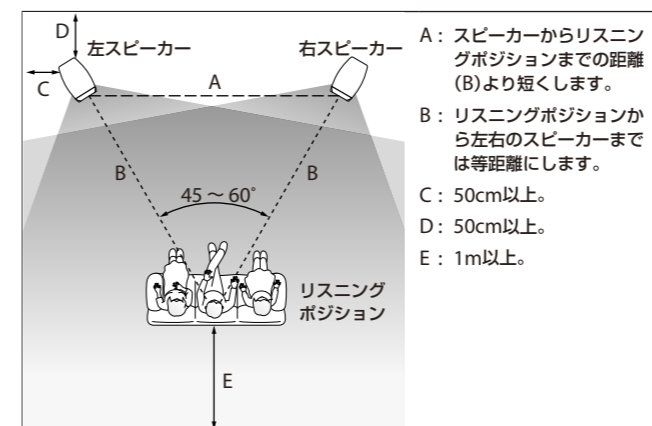
スピーカーの置きかた

音の善し悪しは、スピーカーの置きかたによって大きく影響されます。次のような点に注意して設置すれば、スピーカーの特性を効果的に活かすことができます。

- 安全のためにも、堅くて水平な床面に設置する。
- 固い壁を背に、スピーカーを壁から50cm以上離す。
- 左右のスピーカーの音響条件をなるべく等しくする。
- トゥイーターが耳の高さになるようにする。
- スピーカーを置く位置は二等辺三角形の頂点にする。
左右のスピーカーの間隔を離せないときは、スピーカーを少し外側に向けます。また、2m以上離して置くときは少し内側に向けることにより、効果的なステレオ再生ができます。

次のような場所は避けてください。

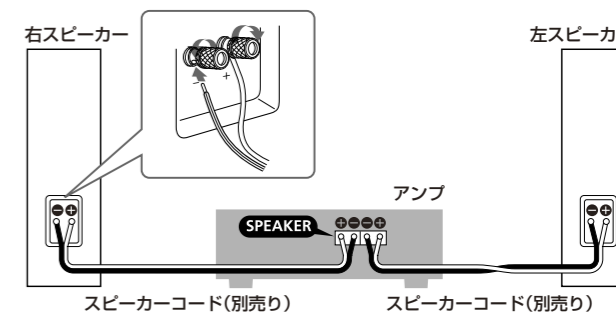
- 温度の高いところ、直射日光の当たるところ
- ほこりの多いところ
- 湿気の多いところ
- プレーヤーのそば
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類のそば
スピーカー部のマグネットの磁気の影響でカードが使えなくなることがあります。
- テレビのそば
スピーカーは防磁型ではありません。そのため、ブラウン管方式のテレビのそばで使うと、テレビ画面に色むらが起こります。



アンプとの接続

アンプのPOWER スイッチを必ずOFFにしておきます。

右スピーカー端子はアンプの右スピーカー端子に、左スピーカーは左スピーカー端子につなぎます。
図のように接続してください。



主な仕様

形式	バスレフ型 3ウェイ4スピーカーシステム
使用スピーカー	ウーファー (低音用) 20.0cmコーン型 (2) ミッドレンジ(中音用) 13.0cmコーン型(1) トゥイーター (高音用) 2.5cmドーム型 (1)
インピーダンス	4Ω
最大入力	200W
出力音圧レベル	88dB (2.83V/m)
再生周波数帯域	28Hz~60,000Hz
クロスオーバー周波数	400Hz、4,000Hz (マルチスロープネットワーク)
最大外形寸法	320×1080×490mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約57kg
付属品	取扱説明書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1) 安全のために (1) クリーニングクロス (1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。



- プリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません。
- キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません。